

緑のセンターだより

No.297 令和5年12月1日発行

発行元：(公財)札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

ラムズイヤー

白いぬいぐるみの手触りに似た毛をまとった葉が特徴のラムズイヤーは、花壇や寄せ植えでシルバーリーフとして利用され、葉だけでも花壇のアクセントをつけるのに重宝する植物の一つです。葉が白く見えるのは白く短い毛が葉の両面にびっしり生えているため、特に表面は撫でていて気持ちよいほどです。この手触りや葉の形から英名でラムズイヤー (Lamb's ears) = 「子羊の耳」と名前がついたとされています。羊にはたくさんの種類があり、毛糸の原料となる体毛はもともとしていますが、どの羊も顔と耳は毛が短くすっきりしています。その耳の手触りはラムズイヤーを触ったときの手触りに確かに似ていると思います。

シソ科イヌゴマ属のラムズイヤーはコーカサスからイランにかけて分布する植物で耐寒性があり、豊平公園の園内でも3か所ほど屋外に植えたまま冬を越しています。ロゼット状に葉が展開しますが、茎が地を這うように横に広がっていきます。秋遅くに花壇片付けをしていると地際の茎の付け根付近に新しい葉芽が出てきているのが観察できます。



↑茎の基部に葉芽が出ていている



↑花が咲いたラムズイヤー



今年生長した葉とともにこのまま越冬し、翌春この新しい葉芽が生長していきます。花壇の他の植物の地上部がなくなっていて、雪が降るまでラムズイヤーの白い葉は土の上で目立つので楽しむことができます。このように葉が注目されることの多いラムズイヤーですが、初夏に白い毛に覆われた棒状の花茎がすっと伸び、先端に紫色の花を穂状につけます。ガクも白い毛に覆われているため、白毛の棒に紫色の花が咲いているように見えます。この花や葉はドライフラワーとしても利用されています。

そのラムズイヤーにも「ワタチョロギ」という和名がつけられていますが、知っている方はほとんどいないのではないかでしょうか。「チョロギ」は同じ属の仲間で中国原産の *S. sieboldii* の和名で、こちらは茎が直立しています。肉厚な葉に短い産毛はありますが、ラムズイヤーに比べるとほとんどないように見えます。チョロギの塊根は梅酢に漬け込み赤く色づけしたものを縁起物としてお節料理に入れる地方もあり、そちらの方が知られているかもしれませんね。

参考文献：「植物の世界」朝日新聞社、「園芸植物大辞典」小学館、「植物分類表」アポック社
「英国王立園芸協会編多年草図鑑 1000」日本ヴォーグ社 他

12月の園芸作業

ここに記載した以外の作業も沢山ありますので
ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問合せください。

緑の相談受付 10:00~12:00 13:00~16:00

★豊平公園 811-9370 月曜以外毎日（月祝日の場合は、翌平日が休み）

※12/29~1/3 は年末年始のため休館します。

※平岡樹芸センター・百合が原公園は冬期間相談受付しておりません。

作業時期			作業内容
	上旬	中旬	下旬
屋外園芸	整枝・剪定	先月に続き、落葉広葉樹の整枝、剪定（カエデ類は水揚げ状況を確認して切る）。	
	冬 囲 い	早めに終わらせる。	
	結束点検	中低木は縄の緩みの確認・締め直し。前月作業したものも再点検を行う。	
	積雪障害予防	軒下の落雪、道路際の除雪による圧雪被害予防のため囲いを補強・除雪。 樹冠や枝に積もった雪は落とす。アカマツ・クロマツは要注意。	
	ネズミ食害予防	林縁や沢地に隣接する場所では積雪前に雑草を除くなどネズミの食害予防を行う。 地上部30~50cmを覆う（ペットボトルを加工してはめ込む・細かい金網を巻くなど）	
鉢花	温度管理	各植物が好む温度（最低10~15°C）を確保し日当りの良い場所へ置く。 暖房による直接の温風と乾燥に注意する。	
	水 や り	土が乾いて鉢が軽くなつてからたっぷり与える。受皿に溜まった水は捨てる。	
	施 肥	多くの植物は生育緩慢期のため、控え目か中断する。 シクラメンやプリムラなど、冬に生長・開花するものには薄い液肥を与える。	
	病害虫防除	アブラムシ、ハダニ、カイガラムシなどの早期発見に努める。	
	球根保存管理	ダリア、カンナ、球根ベゴニア、カラーなど、月1回は保存・保湿状態を確認。	
室内園芸	野菜	キッチンガーデン 貯蔵野菜点検	葉物野菜をベビーリーフとしてプランター栽培。スプラウトなど水耕栽培。 ダイコン、ニンジン、白菜、ネギ、ジャガイモなどの保存状態確認。
	洋ラン	温 度 管 理 水やり・施肥	デンドロ(ノビル)は10°C以下。シンビジウムは着蕾株は20°C以下の涼しいところへ。 カトレアは最低12~13°Cで低温管理。コチョウランやデンファレは18°C以上を保つ。 デンドロ(ノビル)は水を控え、花芽が確認できたら灌水を始める。 他は植込みが乾いたら灌水。施肥は全て不要。
多肉植物	冬型多肉植物の管理	リトーブス、コノフィツム、エオニウム(黒法師)は生育期。土が乾いたらしっかり灌水。	
	休 眠	クジャクサボテンやアデニウムは休眠期。水や肥料は不要。10°C前後で管理。	
観葉植物	温 度 管 理	各植物に合わせて最低10~15°Cは確保。	
	水 や り	暖房による高温乾燥時は水切れに注意し、鉢が軽くなつてから灌水。葉水も有効。	
	施 肥	生育緩慢期なので、施肥は控える。	



Q 大輪のコチョウランを育てていますが、何年たっても花が咲きません。なぜでしょうか？

A コチョウランの花芽を作るには温度が大きく関わっており、高温期と低温期の温度差と一日における昼夜の温度差の両方が必要です。近年では住環境が良くなり、年中一定の温度を保たれることも多く、花芽を作るための温度条件が出来ずに咲かない事があります。

①高温期（花芽を抑制し、株を養成する）

高温 31°C、夜温 25°Cの環境下でコチョウランは完全に花芽を出さなくなり、葉が旺盛に育ちます。
春から夏の間に、元気な葉が最低でも3枚以上ある株に育てます。

②低温期（花芽が分化する）

高温 25°C、夜温 18~21°Cに1~2か月当てます。自然条件下では9月以降が花芽分化期に当たります。大輪系は30~40日、中輪系は20日で花芽が発生し始めますが、ミニ系は温度にあまり影響されず、株が充実すれば出てくるものもあります。

大輪系の開花条件の例

①高温期(初夏~8月)

生育適温	28~31°C	必要な温度差	3~6°C	②低温期(9月以降)
	25°C	夜		
生育適温	18~21°C	必要な温度差	4~7°C	→花芽発生開始
	0日	夜		

※夜温を低くしても高温が28~30°C近くになると逆に花芽が出来にくくなるので、日中暖房が効きすぎる部屋は注意が必要です。

肥料を長く効かせすぎると花芽を作りづらくなる要因になります。春から夏(4~8月)にしっかりと与え、低温期に入る秋以降は控えるとよいでしょう。

イベント情報 (12月~1月)



百合が原公園

☎ (011)772-3511
<https://yuri-park.jp/>

【講習会】	開催日	時間	教材費	定員	申込
キャンドル作り	2024年1月13日(土)	14:45~16:15	500円	6組 (1組4名まで)	12/12(火)~

2023年の天候と植物の生育相談(札幌)

(1) 2月下旬から4月中旬の好天気で、3月20日頃に雪が解け、植物は休眠から覚め活動を始めました。平年は雪解けが4月中旬頃で、1か月ほど早く植物が生長を開始しました。この後、4月下旬から6月上旬までは平年並みに天候が推移しましたが、4月前半までが良い天気だったので、4月後半からは温度・日照の推移が天候不順を感じさせる状況でした。休眠から覚めた植物は寒さに弱く、この時期に障害を受けた植物が多くありました。

・シンパクが元気ない・エニシダの芽が出ない・マツの葉が赤い・5月にボタンの花が終了・ブドウの葉の色が抜ける・エゾムラサキツツジの蕾が茶色に変色・リンゴ、ナシ、ブドウが生長しないで実が腐るなど。

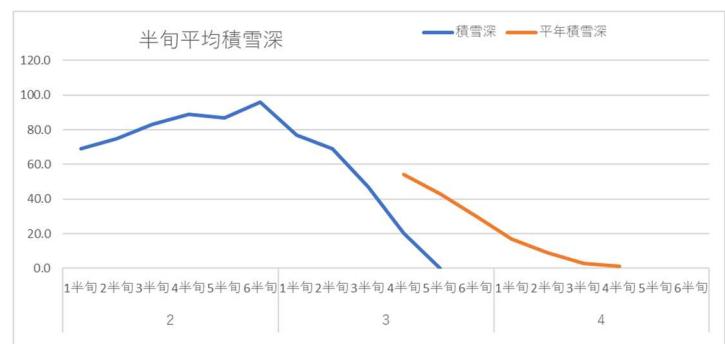
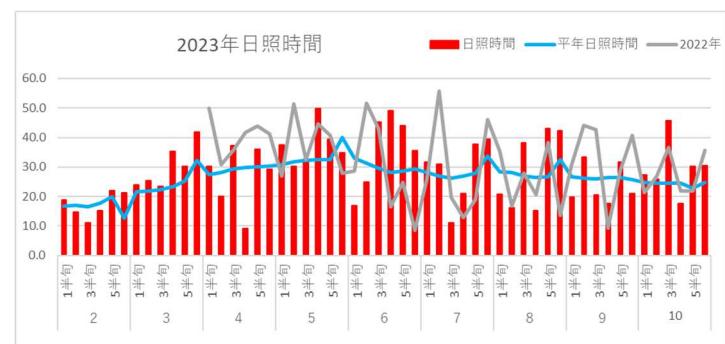
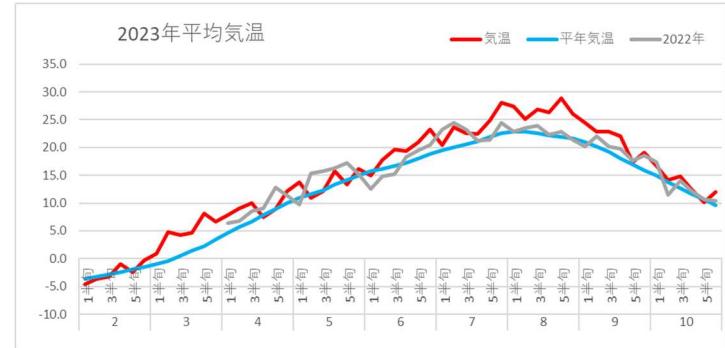
(2) 7月・8月の35°Cを超える記録的な高温が、野菜・草花・樹木の適応力を超えたため、いろいろな障害が出ました。

・ピーマンの実が大きくならない・イチゴの実が小さく収量が少ない・トウキビの丈が低く穂が小さい・ヒメシャラの蕾が落下・キュウリの花や実が落下・チシマザクラの葉が黄緑になり枯れる・ブドウの新芽や枝が枯れる・ヤナギの葉先がチリチリに枯れる・秋に枯れるユリが8月に枯れた・ジューンベリーの葉が7月初めから変色・レタスの葉が巻かないなど。

ウドンコ病は平年、初夏・初秋に発生を見る病気ですが、今年は4月中旬から10月まで途切れることなく防除の相談がありました。また、“ライラック・ナツツバキがウドンコ病に罹った。”と今までにない相談がありました。

2023年の夏は、酷暑で樹木の被害が目立ちました。原因として①地温が高くなり根の活動が低下した。②土の中の有機質(腐葉土)成分が少なくなり土が固くなっていた、などが考えられます。

これからの夏は酷暑の日が増えることが予想されます。①の対策としてワラ・枯草マルチを行う。宿根草で地面を日陰にする。下草を生やすなど。②の対策として毎年、晚秋に腐葉土を敷いてマルチを行い、柔らかい土づくりを心がけてください。



グラフは札幌の気象データです。気象データは気象庁HPより抜粋

展示会情報

豊平公園

ハンドメイド・クリスマス展
12/5 (火) ~12/17 (日)



ハンドメイド・クリスマス展



今年も豊平公園のクリスマスがやります。約5メートルの2本のゴールドクリスマスツリーに変身します。

ラッピングしたポインセチアや、主に豊平公園で採れた木の実や花を材料としたハンドメイドのクリスマスリースの販売もあります。

イルミネーションやクリスマス飾りは12月24日までお楽しみいただけます。



〒062-0905
豊平区豊平5条13丁目
TEL 011-811-6568

地下鉄東豊線
「豊平公園」駅下車
1番出口徒歩1分

楽しいクリスマスと花々と



コウティダリア



ルクリア

百合が原緑のセンターではクリスマスディスプレイ展を開催中で会場内はクリスマスムード一色です。また、大温室では育種家の希少なビオラやパンジーの特設展示販売や、北海道の屋外では越冬できない草丈のあるコウティダリア、サクラのような花姿で芳香も楽しめるルクリアなどの展示も始まります。



〒002-8082

北区百合が原公園210
TEL 011-772-3511

JR学園都市線

「百合が原」駅下車
徒歩7~10分

展示会情報

百合が原公園

クリスマスディスプレイ展
～個性あふれるナチュラルリース～
11/7 (火)
～12/17 (日)



ビオラ育種家たちの素敵な世界
～個性あふれるビオラたち～
第一弾 11/14(火)～12/28(木)



全国で活躍されているビオラ育種家たちの希少なビオラやパンジーを集めた、百合が原公園ガーデンショップの展示・販売会を百合が原緑のセンター大温室で開催中。